

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	術後再建腸管に対するシングルバルーン内視鏡を利用して施行した胆膵処置の治療成績に関する検討
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	肝胆膵内科 川口真矢
研究期間	2020年2月～ 2020年10月
対象者	2013年1月～2019年12月の期間にシングルバルーン内視鏡を利用し、内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)に関連した処置を施行された患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	食道・胃や肝臓・膵臓・胆道の手術後(術後再建腸管)の患者さんに対する ERCP 関連手技は通常解剖と異なり手技難易度が高いですがバルーン内視鏡の登場により着実に進歩を遂げています。2016年に新たに市販されたバルーン内視鏡の登場によりどのように治療成績が変化したかを検討します。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録(カルテ)から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none"> ・背景因子(年齢、性別、既往となる術式など)、 ・臨床データ(基礎疾患、画像・検査結果など) ・手技の転記(合併症の有無など)
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 肝胆膵内科 川口真矢 代表 054-247-6111